



黒漆花文線刻盆 タイ北部 20世紀(個人蔵)



黒漆楼閣人物罽醬蓋付容器  
ミャンマー 20世紀



朱漆花鳥沈金膳 琉球 16~17世紀



黒漆雛菊蒔絵螺鈿茶箱  
日本 17~18世紀

アジアに生育するウルシの木の樹液、漆—うるし—。それは、一度固まると酸などにも強いとても有用な天然塗料です。その漆を塗料や接着剤として利用する文化は、中国や日本、朝鮮、ヴェトナム、ラオス、タイ、ミャンマーに古くからありました。また、漆の温かみのある光沢や、やわらかな質感、表面に施されたきらびやかな装飾の美しさ、使い心地の良さは、いつの時代も人々の心を引きつけてきました。各地域の漆芸品は、その土地の風土や文化を反映した特色ある技法やかたち、文様があり、あふれる造形美が展開しました。

本展では当館所蔵品を中心に漆芸品約100点を展示し、「琉球とアジア」というグローバルな視点で漆器の魅力に迫ります。

アジア全体の交流や繋がりの中なかで紡がれた漆文化と多彩な美、漆の奥深い世界をご堪能いただければ幸いです。

# アジアを紡ぐ展 —漆器—

浦添市市制施行50周年記念展・令和2年度第1期常設展

2020.  
5/26(火)  
9/13(日)

**場所** 浦添市美術館 常設展示室

**開館時間** 9:30~17:00 ※毎週金曜日は19時まで(入館は各30分前まで) **休館日** 毎週月曜日(8/10は開館)

**観覧料** 一般200(160)円 / 大学生130(100)円 / 65歳以上160円 / 高校生以下無料  
※( )内は20名以上の団体料金

主催・お問い合わせ

**住所** 〒901-2103 沖縄県浦添市仲間1-9-2

**電話** 098・879・3219

浦添市美術館 検索  
museum.city.urasoe.lg.jp



浦添市美術館  
URASOE ART MUSEUM